

澄んだ瞳

第67号
令和元年8月号

発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

がっ じんけんぶんか
**8月は、「人権文化をすすめる
県民運動」推進強調月間です！**
けんみんうんどう すいしんきょうちようげっかん

「人権文化」とは

日常生活の中で、お互いの人権を尊重
することを、自然に感じたり、考えたり、
行動することが「当たり前」になった生活
をいいます。

「友だちがあとびにきたよ」

4月30日から友だちが
あとびにきていて、今日がし
んかん線で、福山にかえる日
でした。



にゆうじょうけんを買っ
て、ホームまでおくりました。
そのしんかん線は、キティーちゃんのしん
かん線でした。
キティーちゃんのしんかん線をはじめて

見てよろこんでいたけど、ともだちがかえっ
てしまっかなしみの方が大きかったです。

(小学3年生)

「笑顔のパワー」

わたしには、車いす生活を送っているお

ばあちゃんがいます。
一か月に一回ぐらい
しか会えませんが、会
ったときはいつも
笑顔です。



ある日、わたしたち
がおばあちゃんの車
いすを借りて、乗って
楽しそうにしていると、おばあちゃんも笑顔
でわたしたちを見ていることに気がまし
た。そして、わたしは、わたしたち孫の楽し

そんな様子や笑顔を見ているだけで、おばあ
ちゃんのパワーになっているんだ、笑顔でい
られるんだと思いました。
わたしもおばあちゃんの笑顔が大好きで
す。これからも、おばあちゃんのパワーにな
れるように接していきたいです。

(小学5年生)

「6年生らっへ」

体力テストを1
年生といっしょにや
りました。ぼくたち
は6年間やってきた
から全部わかってい
るけど、1年生はは



じめてで何もわからないし不安だと思いま
した。だから説明をわかりやすく伝えるのも

むずかしかったけど、じっさいにぼくが手本
になってやったら、

1年生もまねしてわかってくれました。

そしてみんなも夢中になって1年生とや
っていて、1年生もうれしかったかなと思
いました。

これからも6年生らしく、一人一人により
そい同じ方向を向いていきたいです。

(小学6年生)

「私が成長したこと」

4月からくらべて私は、心が成長した
なと思いました。

なぜかという、すこしがまんのできるこ
とがふえてきたからです。でも、そういう
自分になったのは、3年生にソーラン節を教
えたからだと思います。

自分で考えて行動し、それで3年生がソ
ーランをおどれるようになって
て私自身とってもうれしか
ったです。

(小学4年生)



「だからばい」

わたしが、5年生
になって楽しかった
ことは、体育のベー
スボールです。

さいしょは、うま
くいなくてあまり
楽しくありませんで
した。でも、ルールが

わかっていき、みんなが、アドバイスをし
てくれたので、楽しくなりました。

試合は、勝った時もあったけど、最後の
試合は負けてしまいました。

その時の気持ちは、すごくやさしい気持ち
でした。

でも、練習でも、試合でも友だちのアドバ
イスや、かけ声があったので、みんなでがん
ばれたと思いました。

みんなで、協力してベースボールができ
たのでよかったです。

(小学5年生)



「トライやる・ウィークをおえて」

5日間のトライやるで学んだことは、人と
の接し方の大切さと、仕事をするこの大変
さです。初めは不安で緊張していたけれど、
先生方に優しく教えていただいたので、とても
勉強になりました。

また、園児たちがたくさん話しかけてくれ
たので、とても楽しかったです。

特に心に残ったことが2つあります。1
つ目は、昼食です。みんな嫌いな物も食べ
ないといけないので、食べさせるのが大変で
した。

2つ目は、お昼寝
です。トントンして
あけて寝てくれた
ときは嬉しかった
し、寝顔がとても
可愛かったです。

また、子どもたち
が「あそぼー」と
か「一緒にごはん食べようー」とか言ってく
れたこともうれしかったです。

お別れの日はとてもさみしかったです。
最後にみんなをギュッと抱きしめました。



この5日間で学んだことや、身につけたことを、これからの生活でしっかり活かしていきたいです！

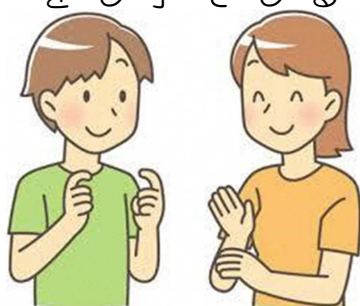
(中学2年生)

「障がいのある子との出会い」

私がまだ小学生中学年ぐらいの時、初めて障がいのある子とふれあいました。その子は同じ地域に住んでいる小さな子でした。

初めて会ったとき、その子のお母さんに「あの子は耳に何をつけてるの。」と聞くと、「あれはね、補聴器っていうんだよ。耳が聞こえない人が周りの音を聞くためにつけるんだよ。」と優しく教えてくださいました。

そして、私はその子に近づきお話し、「こんにちは。」と笑顔で声をかけました。するとニコッと笑いかえしてくれました。その時その子のお姉ちゃんが手でなにかをし始めました。その子は私の方を



向いてゆつくと「こんにちは。」と言ってくれました。

私は、その子のお姉ちゃんが何をしたのかわからなくて、「さっきは何をしていたの?」と聞くと、「手話っていつて手で会話をすることができなんだよ。」と教えてくれました。その子のお姉ちゃんも、まだ小さいのにお母さんよりも手話を覚えていて、その子と普通に手話で会話を続けていました。

私はびっくりしてしまいました。それから一緒に遊ぶことが多くなり、私もその子と会話がしたくて少しずつ手話を教えてもらいました。手話で初めて会話ができたとき、とてもうれしかったです。

(中学2年生)

「楽しかった修学旅行」

修学旅行の2日目。班別活動では、2年生のときの校外学習よりもなにか起こるかわからないのですごく不安でした。約1時間の遅れがでて、計画していた場所に行けませんでした。

しかし、時間にせまられながらも、目的地的に行くために相談し協力することができました。

1番嬉しかったことは、上野動物園までのルートを自分の予定を変えてまで教えてくれた人がいたことです。その人と、関東と関西の違いについても話せたので、すごく楽しかったです。

3日目のめざましテレビの体験は、実際に仕事されている方達と同じようなことができたので、すごく貴重な体験でした。一人1つの仕事をもらい、頑張ったことをDVDに残すことができて、なんだか達成感があるなと思いました。



(中学3年生)

「ソーシャルサイトのリスク」を聞いて

インスタグラムやツイッターなどの、自分の何気ない投稿が、法に反することだったり、良かれと思ってした行動が大きな問題に

なったりすることがわかりました。

本当に気をつけないといけないと思っ
し、きちんと責任を持って行動しなければ
ならないとわかりました。設定のオン・オフ
つで、自分の身が危険にさらされるとい



とを知って、怖いと思
ました。家でも家族とし
っかり確認しようと思
います。

動画を投稿して、それ
が炎上したとき、すぐ
に消しても、多くの人の
元には残っていたり、テ
レビ等で扱われること
によって、もう消えない
ものになったりすると
わかり、それも怖いことだと思いました。

これからの時代、スマートフォンなどは、
必要不可欠なものだと思うので、安全に使い
こなせるようになりたいと思います。インタ
ーネット上は、正しい情報、誤った情報
など、たくさん情報があるので、自分でし
っかり判断できるようにしたいです。

(高校1年生)

家庭対話ウィーク

家族で対話を

7月20日(土)～26日(金)の一週間を
家庭対話ウィークとしています。

家族間のコミュニケーションを円滑に

- ありがとうとごめんなさいを言う
 - あいさつをする
 - 約束を守る
 - うそをつかない
 - 話をするときは相手の目を見る
 - 不満がある場合には、直接伝える
- ※家族だからこそ、特に大切にしたいこと
ですね。



〈非核平和展〉

日時 8月3日(土)～5日(月)

会場 相生市文化会館
7日(水)～9日(金)

内容 (1階エントランスホール)
非核平和ポスター、ヒロシマ・ナガ
サキ原爆写真パネルの展示等



〈人権の集い〉

出演 落合恵子 さん

講演 「生命(いのち)の感受性」

「心のアンテナ、磨いてますか?」

日時 8月7日(水) 18時00分開演

会場 相生市文化会館大ホール

〈ふれ愛シネマ〉

作品名 「キセキの葉書」

あらすじ

脳性麻痺の娘を抱え、子育て、
家事と家の中のことばは全て背負
う美幸は、うつを患いつつも前向きに生き
ようとしています。そこに母が認知症と知らせ
が。母への思いを託した葉書は5,000枚
にも及ぶ…。



日時 12月7日(土) 14時30分開演

会場 相生市文化会館大ホール

※全て入場無料